

ハンズオンの
3時間で覚える
気管支鏡
精密
“枝読み”
セミナー

無料/ 少人数/ 要予約

概要（時間のある限り実習＋質疑応答、参加者全員が端末を実際に操作）

1. SYNAPSE VINCENTの一般的な操作方法
2. 標的に至る経路を見つける：アンパイア目線のオブリークCT断面を用いて精密に
3. 見つけた経路を気管支鏡の視野で見る：オブリーク断面を仮想気管支鏡の代わりに
4. 実際の検査時：気管支鏡の回転にどのように対応するか
5. 「気管支を”縦”に切ったオブリークCT断面」の重要性
6. 末梢まで”枝読み”ができるようになれば、末梢まで気管支鏡で行きたい
いつもの気管支鏡でもう1分岐末梢に行ける簡単なアイデア

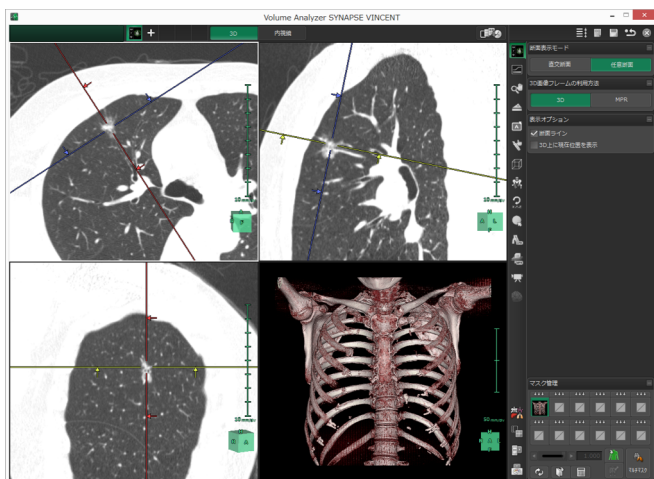
2019.8/03 (土) 大阪大学医学部附属病院

10時～13時、SYNAPSE VINCENT使用



主催 大阪大学大学院医学系研究科 呼吸器・免疫内科学講座
お申込 / お問い合わせ bf@imed3.med.osaka-u.ac.jp

高機能な
**SYNAPSE
VINCENT**を
さらに活用



▲ SYNAPSE VINCENT (富士フィルムメディカル) で表示したCTオブリーク断面



「気管支鏡セミナーのお礼」
2019年1月26日 関東からご参加

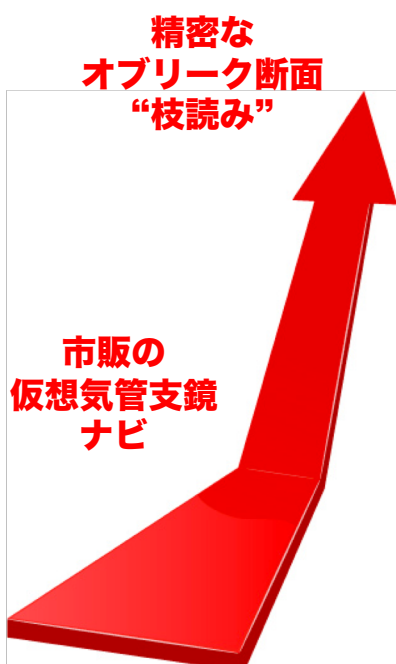
当初貴教室のホームページや文献・動画を拝見させていただいた際には正直なところ「難しそう」と考えておりました。

しかしながら今日は懇切丁寧に分かりやすく教えていただき、明日からオブリーク法を頑張ってみようと思わせていただきました。

今後はまず自分自身に方法を定着させ、同僚にも先生の方法を広められればと考えます。本日は本当にありがとうございました。

今後また疑問点等が出てくると思いますので、その際はまたご相談をさせていただきます。

(ご返信) ご自身でされるとお困りになられることもあると思います。VINCENTの仕様が施設によって異なるところもあります。メール、Facetime等でいつでもサポートさせていただきますので、引き続きどうぞよろしくお願いたします。



気管支鏡の“枝読み”の難しさ

肺野末梢病変の気管支鏡検査をする前には(ナビシステムをお使いでない限り)必ずCT上で“枝読み”をされるとお思います。しかし英語論文を見ていると、従来のAxial断面での枝読みは“painfulでtediousでtime-consumingでmisleadingでさえある”などと表現されています。そのため現実的には「Axial CT断面で中枢側の数分岐だけ読み取って、あとは透視下で鉗子を挿れて探ろう」とされていることも多いとお思います。

市販ナビよりも精密なオブリーク法

私達はオブリーク法というCTの枝読みの技術を開発しました。オブリークとはCTの斜断面を意味する一般的な単語です。従来の枝読みはCTの体軸断面(Axial)を用いることが多いとおと思いますが、斜断面(Oblique)を用いることで枝読みが一気に容易で/精密で/短時間で終わる作業になります。例えばいわゆる肺野末梢小病変であっても、ほとんどの場合には標的に到達するところまで、時には標的内部の分岐さえも読み取ることが可能です。肺門から標的まで10以上の分岐が読み取れることも珍しくありません。しかも慣れれば1症例5分以下、多くは3分程度で枝読みが終わります。

オブリーク法は従来のAxial断面での枝読みより優れていることはもちろん、LungPoint(Broncus Medical, Inc.)など市販の仮想気管支鏡ナビと比較しても精密であり、[1]末梢気管支の認識力 [2]提案する経路の妥当性 [3]気管支分岐の見落としの少なさなどの点で優れていることが示されています⁽¹⁾。さらにオブリーク法の特徴の一つは、ソフトウェアではなく先生方ご自身のスキルであることです。つまりオブリーク法を身につけていただいた方は、市販の仮想気管支鏡ナビ無しでも様々なDICOMビューアで精密な枝読みを行うことが可能です。次のご勤務先でも電子カルテのDICOMビューアか、OsiriXを使うことでオブリーク法を同じようにご活用いただけます。

(1) The Direct Oblique Method: A New Gold Standard for Bronchoscopic Navigation That is Superior to Automatic Methods. Miyake K, Morimura O, Inoue T et al. J Bronchology Interv Pulmonol. 2018. Epub ahead of print. PMID: 29901530

3時間のハンズオンセミナーで効率よくオブリーク法の習得を目指す

オブリーク法の開発から7年。この間に私達はオブリーク法の技術をお伝えするために、学会口演、学会主催の気管支鏡セミナー、各病院にお伺いした形での操作説明、講演会、マニュアルの配布など多様な取り組みを行ってきました。そして今、オブリーク法を最も効率よく、しかも実際に使っていただけるレベルで習得していただける方法は「3時間のハンズオンセミナー」であると考えています。

今年2回目の“枝読み”セミナーを開催します 前回は9施設から13人が申し込み

2019年夏にも“枝読み”ハンズオンセミナーを開催します。参加費はもちろん無料ですので奮ってご参加下さい。前回お申込みいただいた13名の先生方には大変好評でした。参加者全員にSYNAPSE VINCENTを操作していただきながらハンズオンでオブリーク法を習得していただけます。

下記からお申込みをお待ちしております。(要事前予約)

主催：大阪大学大学院医学系研究科 呼吸器・免疫内科学講座
お申込/お問い合わせ：bf@imed3.med.osaka-u.ac.jp